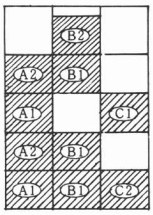
⑥ 〔 英 語 科 〕 指導計画

	健康：学習意欲・学習習慣	知性：学習目標・学習方法	敬愛：学習承認・学習協力
英語科 学年目標 (第2年)	英語の教材に既習の文型文法や連語を置き換える。 既習の英語を音声と文字に表現して練習学習する。	既習の文型文法や連語を用いて英語で表現する。 英語の学習方法カードを活用して多様に学習する。	友だちの学習の仕方や英語の表現を認め合う。 友だちの英語の学習やつまずきを互いに助け合う。

単元目標 Lesson 2 Mike was in Japan Last Year	○本文の内容を精査して，事柄の概要をとらえる。 ○be 動詞の過去形の用法が分かり，身近なことが英語で表現できる。 ○be 動詞の過去形を用いた疑問文，応答文，否定文が分かる。 ○規則動詞の過去形の用法が分かり，身近なことが英語で表現できる。 ○規則動詞の過去形を用いた疑問文，応答文，否定文が分かる。



(4) 教育目標を英語の授業に関連づけた実践例（第2学年3組）

具体化された実践事項 (A1)(A2)(B1)(B2)(C1)(C2) を単元の学習目標，教材内容，留意事項，学習活動に位置づけて教育目標を具現化する手だてを，英語科の授業実践を通して明確にしたいと考える。いわば実践事項と単元との一体化の実践例である。

1. 単元名 Lesson 2 Mike was in Japan Last Year.
2. 目標（略） 3. 目標構造図（略） 4. 指導計画（略）本時は5／7 5. 指導構想（略）
6. 学習目標（本時のめあて）

◎ 規則動詞を含む文（過去形）の疑問文とその応答文の用法が分かり，それを用いて身近なことが英語で表現できる。…… (A2)(B1)

① 本文の内容について，英文を聞いて，内容に合っているかいないかを判断することができる。…… (A1)

② Did ～？の文を聞いて意味が分かり，疑問文の作り方がいえる。…… (A2)(B1)

③ 絵を見て，Did ～？を用いて，疑問文と応答文がいえる。…… (A2) (C2)

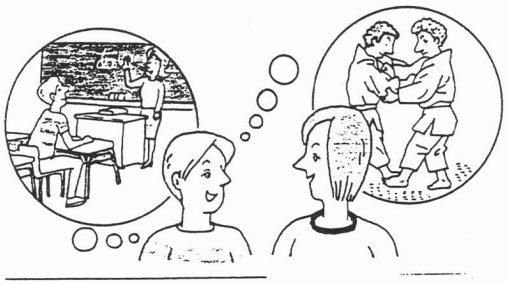
④ 過去形の平叙文を，Did ～？を用いて疑問文に直すことができる。…… (A2)(B1)

■ 学習目標に教育目標を具体的に位置づけることは，実質的には，本時のめあてに具体化された実践事項 (A1)(A2)(B1)(B2)(C1)(C2) を位置づけることと同義となる。特に①～④のように，下位目標（行動目標）に位置づけておくことが大切であると考える。

ここで，学習目標と教育目標との関連が一体化され，具現化への第1の手だてとなる。

You *played* tennis yesterday.
A: **Did** you *play* tennis yesterday?
B: Yes, I **did.** / No, I **didn't.**

Paul: Did you study Japanese at school?
Mike: Yes, I did.
Paul: Was it difficult for you?
Mike: No, it was easy for me.



Paul: Do many Japanese learn *judo*?
Mike: Yes, many men do, and some women do, too.